

奈良県立病院機構 経営状況

(全体)		(単位:百万円)		
		H27 決算	H28 決算	H28-H27
営業収益	A	22,294	22,922	628
医業収益	B	20,261	20,909	648
入院収益		14,898	15,136	238
外来収益		4,979	5,378	399
その他医業収益		383	394	11
営業外収益	C	134	163	29
営業費用	D	23,557	24,014	457
医業費用	E	23,041	23,481	439
給与費		12,347	12,992	645
材料費		6,004	5,827	▲ 178
経費		3,408	3,447	39
減価償却費		1,220	1,125	▲ 94
研究研修費		63	90	27
営業外費用	F	59	76	17
医業損益	B-E	▲ 2,780	▲ 2,572	209
経常損益	(A+C)-(D+F)	▲ 1,188	▲ 1,005	182
臨時損益		▲ 1,067	▲ 1,646	▲ 579
総損益		▲ 2,255	▲ 2,651	▲ 396
県運営費負担金 (A・Cの内数)		1,904	1,857	▲ 46

【28年度の結果】

○純損益:▲2,651百万円の赤字(昨年度比▲396百万円赤字増加)
(主な要因:建物の鑑定評価額の減による、約▲900百万円の臨時損失の発生)

○臨時損益を除く経常損益は、▲1,005百万円の赤字となったものの、昨年度比+182百万円の改善

○経常損益が改善した要因

- ・医業収益:昨年度比+648百万円
 - ・ベッドコントロールの強化等による病床稼働率の向上。
(西和:㉗74.8%→㉘82.3%。特に㉘上半期77.7%→下半期87.0%)
(リハビリ:㉗87.8%→㉘92.1%)
 - ・総合医療センター:収益アップのため運用病床の増加(384床→400床)
- ・医業費用:昨年度比+439百万円
 - ・給与費:新病院開設に向けた人員増の影響もあり昨年度比+645百万円
(平成29年1月より強化した労務管理による超過勤務の縮減効果を含む)
 - ・材料費:価格交渉の強化等により昨年度比▲178百万円の減少

【29年度の状況】

○経常損益は4~6月累計で28年度と比較し、約638百万円利益が増加。

- 主な内訳:総合医療センターは、約360百万円利益が増加
西和医療センターは、約297百万円利益が増加
リハビリセンターは、約19百万円利益が増加

○経常損益が改善した要因

- ・医業収益:4~6月累計で平成28年度と比較し、443百万円増加
 - ・ベッドコントロールの強化等により3センターとも病床稼働率を上昇
- ・医業費用:4~6月累計で平成28年度と比較し、118百万円の減少
 - ・平成29年度より、診療部長の管理職化、給与制度の見直し実施

※以上より、28年度下半期から29年度にかけて、経営改善取組の成果が徐々に現れている。

奈良県立病院機構 経営状況(通常分)

(総合医療センター)		(単位:百万円)		
		H27 決算	H28 決算	H28-H27
営業収益	A	12,549	13,047	497
医業収益	B	11,589	12,026	438
入院収益		8,305	8,416	110
外来収益		3,058	3,385	327
その他医業収益		226	226	0
営業外収益	C	81	123	42
営業費用	D	12,853	13,376	523
医業費用	E	12,853	13,376	523
給与費		6,914	7,396	482
材料費		3,393	3,498	105
経費		1,850	1,822	▲ 28
減価償却費		659	598	▲ 61
研究研修費		37	61	24
営業外費用	F	17	33	16
医業損益	B-E	▲ 1,264	▲ 1,349	▲ 85
経常損益	(A+C)-(D+F)	▲ 240	▲ 239	1
臨時損益		▲ 750	▲ 414	336
総損益		▲ 990	▲ 653	337
県運営費負担金 (A・Cの内数)		879	926	47

【28年度の結果】
 ○収益アップを図るため、28年度に稼働病床を384床→400床に段階的に増床したが稼働を落とすことなく患者数を確保した。(許可病床430床)
 ○救急患者の受け入れ推進及び手術増加方策により収益増となった。
 ○独法移行後3年目として管理者研修会を実施し、更なる意識改革を図った。
 ○28年度上期は、稼働病床数を増により患者数を増加させたが、人件費の増もあり、27年度と比較して医業収支は悪化した。
 ○28年度下期は、診療材料費の契約見直しによる減などにより、27年度と比較して医業収支は改善。
 ○28年度通年では、27年度と比較して経常収支はほぼ同じであるが、新病院準備経費を控除すると+285百万円利益が増加している。

【29年度の状況】
 平成29年度4～6月については、決算と比較して、経常損益は累計+360百万円利益が増加。主な要因として、病床稼働率 28年6月 89.0% → 29年6月90.9%で推移、外来単価が28年6月 14,952円 → 29年6月 15,615円で推移し医業収入が増加。入院収益については、ベッドコントロールナースの専従化、日々の新入院患者数について目標設定する等、取組を実施したものの。
 外来収益は、高額薬剤(オプジーボ)の使用量増加等により外来単価が上昇。

●病床稼働率(%)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	92.7	92.6	90.9												
H28	89.5	86.9	89.0	87.7	84.4	87.4	87.5	88.0	86.7	85.9	86.1	93.6	94.4	89.1	88.3
H27	88.1	83.4	87.4	86.4	88.4	79.9	85.6	90.9	90.0	90.0	91.4	96.9	88.1	90.6	88.1

●延べ入院患者数(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	11,124	11,484	11,017												
H28	10,312	10,343	10,253	10,519	10,122	10,173	61,722	10,693	10,197	10,516	10,676	10,486	11,700	64,268	125,990
H27	9,914	9,383	9,830	10,286	10,526	9,516	59,455	10,826	10,369	10,713	10,886	10,416	10,484	63,694	123,149

●入院手術件数(件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	523	493	522												
H28	514	459	513	473	507	463	2,929	510	477	500	487	505	530	3,009	5,938
H27	469	411	542	503	545	452	2,922	485	468	474	508	548	520	3,003	5,925

●1日当たり外来患者数(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	907	924	881												
H28	926	967	904	916	845	922	911	943	924	962	929	883	908	924	918
H27	921	987	906	913	876	961	925	948	968	999	965	947	940	960	942

奈良県立病院機構 経営状況

(西和医療センター)		(単位:百万円)		
		H27 決算	H28 決算	H28-H27
営業収益	A	7,527	7,714	187
医業収益	B	7,034	7,226	192
入院収益		5,469	5,554	85
外来収益		1,472	1,561	89
その他医業収益		93	111	18
営業外収益	C	40	28	▲13
営業費用	D	8,313	8,172	▲141
医業費用	E	8,313	8,172	▲141
給与費		4,178	4,261	83
材料費		2,384	2,104	▲280
経費		1,241	1,323	82
減価償却費		488	460	▲28
研究研修費		21	23	2
営業外費用	F	37	36	▲1
医業損益	B-E	▲1,279	▲946	333
経常損益	(A+C)-(D+F)	▲782	▲466	316
臨時損益		▲277	▲940	▲663
総損益		▲1,059	▲1,406	▲347
県運営費負担金	(A・Cの内数)	481	473	▲8

【28年度の結果】

○ベッドコントロールの強化により病床稼働率は改善(㉑74.8%→㉒82.3%)(㉓上期77.7%→㉔下期87.0%)、収支改善が進んでおり、医業収支は+192百万円の増加となった。
○給与費については、医師3名、薬剤師2名、リハビリスタッフ1名の増員により増加。
○材料費については高額医薬品の使用量が主に下期で減少及び入院手術件数▲215件の減少により減少。
○経費については、給食及び清掃業務の委託業者変更により増加。
○28年度通年で、27年度と比較して、経常損益は316百万円(上期63百万円、下期253百万円)の利益増加となった。
○総損益は、▲14億円の赤字であるが、約7億円の減損損失(建物の鑑定評価額の減)により、臨時損益が大幅に悪化した影響が大。

【29年度の状況】

医業収益は、28年度と比較して+245百万円の増加となっており、病床稼働率10.3%の増加によるもの(稼働率 ㉑73.3% → ㉒83.6%)(患者数 ㉑219.9人/日 → ㉒250.8人/日)
入院診療単価は666円の増加となっており、入院手術件数123件の増加によるもの(入院診療単価 ㉑64,030円 → ㉒64,696円)(入院手術件数 ㉑882件 → ㉒1,008件)
費用は材料比率について収益の増加に伴い、△4.6%の減少となった(材料比率 ㉑34.7% → ㉒30.2%)(薬品比率 ㉑14.3% → ㉒11.8%)(診療材料費率 ㉑19.3% → ㉒17.4%)
経費は△2百万円の減少となっており、主には修繕費△6百万円の減少によるもの(H28.04 血管撮影装置修繕:2百万円 H28.05 洗濯・乾燥室の工事:3.5百万円)

●病床稼働率(%)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	82.1	85.9	82.7												
H28	72.3	66.5	81.3	83.7	83.8	78.3	77.7	85.0	88.8	86.2	89.6	87.4	84.9	87.0	82.3
H27	78.1	73.2	75.5	76.3	74.7	68.4	74.4	69.9	77.8	77.9	74.8	77.5	74.3	75.3	74.8

●延べ入院患者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	7,392	7,991	7,440												
H28	6,505	6,189	7,320	7,783	7,790	7,045	42,632	7,906	7,991	8,018	8,336	7,340	7,898	47,489	90,121
H27	7,027	6,812	6,792	7,098	6,943	6,152	40,824	6,500	7,004	7,249	6,955	6,743	6,906	41,357	82,181

●入院手術件数(件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	318	347	340												
H28	301	257	324	316	322	274	1,794	299	355	296	283	313	350	1,896	3,690
H27	326	255	330	344	311	293	1,859	328	328	371	319	320	380	2,046	3,905

●1日当たり外来患者数(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	607	598	581												
H28	581	602	566	595	553	521	569	610	605	618	620	584	567	600	584
H27	585	633	591	571	569	631	595	620	611	642	618	604	592	614	604

奈良県立病院機構 経営状況

(総合リハビリテーションセンター)		(単位:百万円)		
		H27 決算	H28 決算	H28-H27
営業収益	A	1,739	1,784	45
医業収益	B	1,638	1,657	19
入院収益		1,124	1,167	43
外来収益		449	432	▲ 17
その他医業収益		65	57	▲ 8
営業外収益	C	13	10	▲ 3
営業費用	D	1,875	1,933	58
医業費用	E	1,875	1,933	58
給与費		1,255	1,335	80
材料費		227	224	▲ 3
経費		317	302	▲ 15
減価償却費		72	67	▲ 5
研究研修費		5	5	0
営業外費用	F	2	2	▲ 0
医業損益	B-E	▲ 237	▲ 276	▲ 39
経常損益	(A+C)-(D+E)	▲ 125	▲ 141	▲ 16
臨時損益		▲ 19	▲ 80	▲ 61
総損益		▲ 144	▲ 221	▲ 77
県運営費負担金	(A・Cの内数)	96	123	27

【28年度の結果】

○ベッドコントロールの強化及び病院・開業医への訪問などにより病床稼働率は改善(㉑87.8%→㉒92.1%)

○医業収益は、27年度と比較して、病床稼働率の改善等により増加

○医業費用は、27年度と比較して、給与費の増加(看護師等給与、退職給付引当金)により増加

○経常損益は、27年度と比較して、▲16百万円利益が減少した。

○総損益は、▲221百万円の赤字であるが、66百万円の減損損失(建物の鑑定評価額の減)により、臨時損益が大幅に悪化した影響が大。

【29年度の状況】

○28年度に引き続きベッドコントロールの強化及び病院・開業医への訪問などによる病床稼働率の向上を図っている

平成29年4～6月累計(対前年同月)

- ・医業収益: +22百万円(㉑403百万円 → ㉒425百万円)
- ・医業費用: + 3百万円(㉑524百万円 → ㉒527百万円)
- ・医業損益: +19百万円(㉑▲120百万円 → ㉒▲101百万円)
- ・経常損益: +19百万円(㉑▲87百万円 → ㉒▲68百万円)

●病床稼働率(%)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	97.6	96.9	95.2												
H28	95.0	91.1	90.8	93.0	88.5	76.4	89.2	85.2	95.8	98.1	95.9	96.9	97.9	94.9	92.0
H27	86.5	86.7	86.8	90.5	91.0	88.5	88.4	83.1	80.1	81.2	91.4	93.4	93.8	87.2	87.8

●延べ入院患者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	2,928	3,004	2,857												
H28	2,850	2,823	2,723	2,884	2,744	2,291	16,315	2,642	2,874	3,041	2,972	2,712	3,034	17,275	33,590
H27	2,594	2,689	2,605	2,805	2,821	2,655	16,169	2,577	2,404	2,517	2,834	2,709	2,907	15,948	32,117

●手術件数(件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	15	16	20												
H28	16	14	24	19	14	21	108	17	18	12	21	21	15	104	212
H27	18	10	19	13	13	22	95	15	13	17	18	16	23	102	197

●1日当たり外来患者数(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	合計
H29	188.4	199.5	192.0												
H28	193.8	200.7	197.5	213.0	202.9	197.6	200.9	211.4	210.7	203.6	197.7	203.1	206.7	205.6	203.2
H27	204.3	215.6	199.5	216.2	197.7	193.7	204.5	212.2	212.1	210.2	217.9	213.5	208.5	212.3	208.3

奈良県立病院機構 平成29年度第一四半期経営状況

(全体)		(単位:百万円)			
		H28 決算	H28年 4-6月 実績	H29年 4-6月 実績	4-6月 実績比
営業収益	A	22,922	5,503	5,978	475
医業収益	B	20,909	5,005	5,447	442
入院収益		15,136	3,614	3,974	360
外来収益		5,378	1,311	1,387	76
その他医業収益		394	81	85	4
営業外収益	C	163	36	65	29
営業費用	D	24,014	6,156	6,030	▲126
医業費用	E	23,481	6,035	5,917	▲118
給与費		12,992	3,307	3,308	1
材料費		5,827	1,636	1,573	▲63
経費		3,447	784	780	▲4
減価償却費		1,125	279	224	▲55
研究研修費		90	29	31	2
営業外費用	F	76	9	1	▲8
医業損益	B-E	▲2,572	▲1,030	▲470	580
経常損益 (A+C)-(D+F)		▲1,005	▲626	12	638
県運営費負担金 (A・Cの内数)		1,857	464	548	84

奈良県立病院機構 平成29年度第一四半期経営状況

(総合医療センター)		(単位:百万円)			
		H28 決算	H28年 4-6月 実績	H29年 4-6月 実績	4-6月 実績比
営業収益	A	13,047	3,204	3,437	233
医業収益	B	12,026	2,949	3,124	175
入院収益		8,416	2,070	2,201	131
外来収益		3,385	827	868	41
その他医業収益		226	52	56	4
営業外収益	C	123	30	53	23
営業費用	D	13,376	3,452	3,356	▲96
医業費用	E	13,376	3,452	3,356	▲96
給与費		7,396	1,863	1,874	11
材料費		3,498	995	934	▲61
経費		1,822	428	420	▲8
減価償却費		598	150	109	▲41
研究研修費		61	17	20	3
営業外費用	F	33	8	0	▲8
医業損益	B-E	▲1,349	▲503	▲232	271
経常損益 (A+C)-(D+F)		▲239	▲226	134	360
県運営費負担金 (A・Cの内数)		926	232	349	117

奈良県立病院機構 平成29年度第一四半期経営状況

(西和医療センター)		(単位:百万円)			
		H28 決算	H28年 4-6月 実績	H29年 4-6月 実績	4-6月 実績比
営業収益	A	7,714	1,769	2,038	269
医業収益	B	7,226	1,652	1,897	245
入院収益		5,554	1,251	1,460	209
外来収益		1,561	377	412	35
その他医業収益		111	24	25	1
営業外収益	C	28	3	7	4
営業費用	D	8,172	2,059	2,034	▲25
医業費用	E	8,172	2,059	2,034	▲25
給与費		4,261	1,082	1,077	▲5
材料費		2,104	574	572	▲2
経費		1,323	279	278	▲1
減価償却費		460	113	97	▲16
研究研修費		23	11	10	▲1
営業外費用	F	36	0	0	0
医業損益	B-E	▲946	▲407	▲137	270
経常損益	(A+C)-(D+F)	▲466	▲287	10	297
県運営費負担金	(A・Cの内数)	473	118	142	24

奈良県立病院機構 平成29年度第一四半期経営状況

(総合リハビリテーションセンター)		(単位:百万円)			
		H28 決算	H28年 4-6月 実績	H29年 4-6月 実績	4-6月 実績比
営業収益	A	1,784	434	454	20
医業収益	B	1,657	403	425	22
入院収益		1,167	293	314	21
外来収益		432	107	107	0
その他医業収益		57	3	4	1
営業外収益	C	10	2	4	2
営業費用	D	1,933	524	527	3
医業費用	E	1,933	524	527	3
給与費		1,335	363	358	▲5
材料費		224	67	67	0
経費		302	76	83	7
減価償却費		67	16	18	2
研究研修費		5	1	1	0
営業外費用	F	2	0	0	0
医業損益	B-E	▲276	▲121	▲102	19
経常損益	(A+C)-(D+F)	▲141	▲88	▲69	19
県運営費負担金	(A・Cの内数)	123	31	29	▲2